

時間	講義項目
10:00 11:30	<p>□ [武蔵野大] 4学期制による学修の質向上と学外学修プログラムの課題から刷新へ ～積み上げ型カリキュラムからスパイラル学修へ～ 武蔵野大学 北條 英勝</p> <p>1. 4学期制導入の目的と経緯 (1) 学修の効率性と質向上 (2) 海外語学研修・留学の促進と学外学修プログラムの充実 (3) 学年暦・カリキュラムなどの制度設計</p> <p>2. 積み上げ型カリキュラムと留学・学外学修の促進についての現状と課題 (1) 積み上げ型カリキュラムとカリキュラム・マップの導入 (2) 効率的な学修と補修制度の必要性 (3) 2学期留学・学外学修プログラムの課題</p> <p>3. 本学中長期計画とコロナ禍における授業のオンライン化経験をふまえて (1) BYODとサイバー・フィジカルな学修環境の計画 (2) 学修者本位の教育としてのスパイラル学修の検討 (3) コロナ禍での授業のオンライン化経験</p> <p>4. 学外学修を活かしたスパイラル学修とカリキュラムの再検討 (1) 積み上げ型カリキュラムからスパイラル学修へ (2) 授業・カリキュラムの基盤としてのデジタル化 (3) 新たな大学教育をめざして <質疑応答></p>
11:40 13:00	<p>□ [新潟大] 「クォーター制」による長期学外学修の加速 <オンラインによるご出講> ～2017年度導入/5パターンの開講形態/初年次教育の見直し～ (国)新潟大学 福島 治</p> <p>1. クォーター制の導入と現在の運用 (1) 導入前の学内動向 (2) 期待された効果と教員の反応 (3) 大学教育再生加速プログラム(AP事業)の効果 (4) 5パターンの開講形態</p> <p>2. 新潟大学の長期学外学修 (1) 新潟大学 AP事業の概要 (2) 連携教育支援オフィスの役割 (3) ダブルホーム・創生学部との連携 (4) 長期学外学修ラインアップ</p> <p>3. 初年次教育の見直し (1) クォーター制と並行した初年次教育改革 (2) 学修ガイダンスの導入 (3) 能動的授業科目の増設 (4) コモンリテラシーセンター <質疑応答></p>
13:50 15:10	<p>□ [神戸大] 「2学期クォーター制」の導入、課題、そして見直し <オンラインによるご出講> ～学事暦の変更が意味するもの～ (国)神戸大学 近田 政博</p> <p>1. 「2学期クォーター制」の導入と課題 (1) 導入の経緯 (2) 学生、教職員の反応 (3) どんな課題、影響が生じたか</p> <p>2. 「2学期クォーター制」をどうやって見直すか (1) 見直しのプロセス (2) 「セメスター的運用」とは何か</p> <p>3. 学事暦の変更が意味するもの (1) 見直しによって改善されたこと (2) 本質的な問題は何か <質疑応答></p>
15:20 16:40	<p>□ [津田塾大] 4ターム制・ギャップタームと学外学修 ～学びの質向上とその課題～ 津田塾大学 大島 美穂</p> <p>1. 4ターム制の導入と学外学修センターの設置 (1) 導入の目的 — 既存の学外活動のサポートと教育の質的変容 (2) 制度の概要 (3) 制度導入プロセスと学内議論 — 既存のカリキュラムの再編の概要</p> <p>2. 学外学修の進展と内容 (1) 2017～2019年度の活動実績 (2) 津田塾大学の特色①:海外活動、学生の自律的活動の多さ (3) 津田塾大学の特色②:OGとのつながり</p> <p>3. 4ターム制・学外学修への評価 (1) 4ターム制の長所と短所 — 学生と教員の視点から (2) 学外学修センターへの評価 — 内部・外部評価と学生の視点 (3) 学外学修と学生の認知・非認知スキル向上の関係 — Global Perspective Inventory (GPI) による評価 (4) 今後の課題 <質疑応答></p>